

いがらし博文県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

産業集積を図り、地域活性化を!

酒々井IC周辺の土地利用で要望

4月の県議選で、初当選を果たした富里市選出の五十嵐博文(いがらし・ひろふみ)県議は、初議会となった6月県議会の一般質問に早くも登壇し、千葉県と市町村の支援・連携という基本的なあり方を中心に幅広く県の考え方をたどしました。

とりわけ、酒々井インターチェンジ周辺地域の土地利用では、流通業務施設の誘導などによる地域活性化を図るため、市街化調整区域における土地利用方針やガイドラインを生かした地区計画が進むよう、県による地元市への積極的な支援を強く要望しました。

その他、道路問題や園芸農業の振興策、電力調達など、五十嵐県議の主な質疑を特集しました。

五十嵐議員 酒々井インターチェンジ(IC)は、平成25年4月に供用開始され、2年が経過しました。当ICは、いわゆる地域活性化インターとして効率的なアクセスの確保により、企業立地をはじめとした地域経済の浮揚、雇用の創出、周辺道路の渋滞緩和等を図り、地域の活性化に寄与することが目的とされており

ることは、大変重要だと考えています。このため、IC周辺については、これまで地域の実情に応じ、開発許可制度や地区計画制度を活用し、土地利用の促進を図ってきました。また、昨年7月には「都市計画見直しの基本方針」を策定し、IC周辺において、物流などの産業集積を図り、地域活性化を目指すことを、方針の一つとして

明確に掲げるところです。県としては、酒々井IC周辺について、今後とも地元市町と連携し、交通便利性を生かした土地利用が促進されるよう取り組んでまいります。

流通施設の誘導へ

五十嵐議員 開発許可制度を補完する制度として、地区計画制度があります。富里市でも、酒々井インターの活用を視野に、市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画ガイドラインを平成25年度に策定し、酒々井インター周辺地区における流通業務施設の誘導など、地域活性化や地域振興として必要な施設の誘導を図っており、今後は、地区計画制度を活用した早期の立地が求められていきます。

酒々井IC周辺の市街化調整区域における、市町村の地区計画の決定が進むよう、県として積極的に市町村を支援すべきと考えますがどうか。

県議会に初登壇した五十嵐県議



6月県議会一般質問に初登壇

地域活性化インターとして設置された酒々井IC周辺の土地利用促進について、県はどのように取り組んでいるのか。

森田知事 県では、圏央道や東関東自動車道などの広域道路ネットワークの整備効果を地域に波及させるため、IC周辺の土地利用の促進を図

酒々井IC周辺の市街化調整区域における、市町村の地区計画の決定が進むよう、県として積極的に市町村を支援すべきと考えますがどうか。

要望 地区計画について、県は地元市町村を支援すべきと考えますがどうか。



議事堂から森田知事(左下)らに語りかける五十嵐県議

●富里市と県政に関するご要望をお寄せください。

いがらし博文 県議事務所
〒286-0221 富里市七栄646-759
TEL0476-90-2801 FAX0476-90-2802

ですが、ぜひ、市町に對し、事前の相談段階から懇切丁寧な対応を行うなど、きめ細やかな支援を行うことを強く要望します。

道路環境や整備状況で質疑

道路アダプトプログラムで支援を



議場からメモを手に再質問する五十嵐県議

るべきと考えるがどうか。

五十嵐議員 県は平成20年度から、より安全で地域にふさわしい快適な道路環境づくりを目標に、地域との協働・連携による維持管理を進めるため、地域ボランティアに行っていたり、道路の清掃・除草及び美化活動について「千葉県道路アダプトプログラム」による支援を行う制度を開始しています。

地域との協働連携で

五十嵐議員 県は平成20年度から、より安全で地域にふさわしい快適な道路環境づくりを目標に、地域との協働・連携による維持管理を進めるため、地域ボランティアに行っていたり、道路の清掃・除草及び美化活動について「千葉県道路アダプトプログラム」による支援を行う制度を開始しています。

七栄の交差点改良

五十嵐議員 国道296号富里市七栄地先の交差点改良は、市と連携して進め

御料と十倉の歩道整備

五十嵐議員 県道八街三里塚線の富里市御料地先の整備状況と十倉地先の今後の見通しはどうか。
県土整備部長 御料地先と十倉地先は、小学校の通学路となつていますが、歩道の未整備区間があることから、歩行者の安全確保を図

成田西国線バイパス

五十嵐議員 県道成田西国線バイパス整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。
県土整備部長 同線は、国道296号と交差する七栄東交差点の渋滞緩和を目的に、300メートルのバイパス整備を進めています。これまでに面積ベースで約9割の用地を取得したこと

農地集積など機能強化

五十嵐議員 本県園芸農業の発展には、千葉県園芸協会の役割が重要と考えるが、県はどのように支援しているのか。
農林水産部長 千葉県園芸協会は、本県園芸の重要課題に対処するため、大口需要に対応できる産地間連携や、優良品種の種苗安定供給、担い手への農地の利用集積などに取り組めるよう、機能強化したところです。県としても

産地間連携の強化

五十嵐議員 産地間連携の強化に向けた千葉県園芸協会の取り組み状況はどうか。
農林水産部長 近年、取引が拡大している量販店や加工業務用の大口需要に対応するためには、個別産地の取引だけでは限界があることから、県内産地が生産や販売において戦略的に連携していくことが重要です。このため、県園芸協会では昨年度、さつまいもやニンジンなど4品目で、農協や卸売業者などが参加する品目別協議会を設置し、

電力調達の状況

五十嵐議員 市町村は、これまで地域の電力会社と長期売電契約を結んでいましたが、総務省は競争入札を原則とするよう周知しています。県内市町村の電力入札の実施状況について、県はどのように把握しているのか。
総務部長 県全体の状況については調査していませんが、県が運営している「ちば電子調達システム」で把握したところでは、11市において電力入札を実施していることを確認しています。

- ① 産地間連携を進めるための品目別協議会の助成
- ② ネギやイチゴなど重要品目の種苗生産における栽培技術指導
- ③ 農地集積を促進するための農地活用推進員の配置などの支援により、本県の重点施策の効果的な推進に努めているところです。

要望 千葉県園芸協会の継続的な支援、そして状況を見極めた中での新たな支援も要望します。

要望 電力入札に特化した質問の背景には、電力入札の実施状況の把握を皮切りに、県からの情報の二重性を保持し、市町村の適切な判断へ結び付けられる環境整備が必要と思つたからです。

そのためにも、千葉県園芸協会の役割は非常に有効かつ重要になることから、継続的な支援を要望します。

県園芸協会への継続的支援求め!